

ウムチョ ムィーザ通信

No. 45

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

ウムチョムィーザ学園から

ムタバジ テオネステ 教頭より

【はじめまして】

ウムチョムィーザ学園を支えてくださっている皆様に感謝申し上げます。

そして、家族にとって大切な子ども達をウムチョムィーザ学園に託して下さった保護者の皆様そして、当学園で一生懸命勉強し、努力した子ども達にも「ありがとう」と感謝します。

当学園の運営のために、経済的・技術的な支援を惜しまずに与えてくださっている日本の皆様の寛大なご協力に感謝いたします。皆様の支援によって、貧しくて授業料を払うことが出来ない子ども達の教育にも尽くすことが出来ました。

今回は、日常生活を紹介したいと思います。ルワンダはほぼ1年中日の出が6時日の入りが18時で、小鳥のさえずりで1日が始まります。

教頭として、子ども達が困らないように1番に出勤してすべての鍵を開け子ども達や教職員を迎えます。子ども達に朝の挨拶をしていると、中には家庭の問題を引きずって暗い顔の子どももあり、子どもの目線で話を聞いて少しでも笑顔になるように心がけております。また、時には、朝はきれいな服が活動しているうちに泥まみれになってしまう子もいます。その時には、ストックしてある服に着替えさせ、帰りまでに職員に洗濯を依頼して気持ちよく過ごしてもらうように気配りをしています。

それでは、子ども達のある1日を紹介します。

小学校

時間	活動	※ 特別活動
6:40- 6:45	登校	月曜日・金曜日
6:45- 7:00	朝の活動	7:00- 7:55
7:00- 7:15	お祈り	聖書の勉強会
7:15- 9:55	授業	クラブ活動の発表
9:55-10:25	休み時間	木曜日
10:25-13:05	授業	15:25-16:05
13:05-14:05	給食	クラブ活動の準備
14:05-16:05	授業	金曜日
16:05-16:20	休み時間	15:25-16:05
16:20-17:00	補習	スポーツ



幼稚園

時間	活動
7:00- 7:30	登園
7:30- 7:40	トイレ
7:40- 8:20	お祈りとお遊戯
8:20- 9:30	授業
9:30-10:30	おやつ
10:30-12:00	授業

※ 金曜日のみ

11:30-12:00 スポーツ



子ども達には知識はもちろんのこと、社会人としてそして親になったときに世代をつないで見本となれるような大人に育ててほしいと願っています。元気で毎日学園に通ってきてくれるのを楽しみにしております。

今後、さらに学校のレベルアップにつながる環境づくりに取り組み、学校の良さを保護者や地域社会に発信していく活動に取り組んでいきたいと思っています。ウムチョムィーザ学園の教頭として共に子ども達の成長を支えて明るい未来になるように全力で頑張っていきたいと思っています。





ウムチョ ムィーザ学園の会計報告 2016年度2学期(4月1日～7月31日)

学費の納入状況の報告

*2016/7/31現在時価換算による

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
100%	11	12	11	36	25	34	25	21	21	196	1,942,700
その他	5	1	4	3	9	7	6	9	4	48	206,530
0%	5	5	3	6	6	10	8	6	4	53	0
合計	21	18	18	45	40	51	39	36	29	297	2,149,230
予算額											2,511,640
不足金額											362,410



1人あたり=75,000ルワンダフラン(約11,150円)から
1人あたり=75,000ルワンダフラン(約 9,912円)に



2016年4月1日～7月31日会計報告 *2016/7/31現在時価換算による

〔収入〕

〔支出〕

単位:円

項目	金額	項目	金額
学費(過年度回収分含む)	2,479,400	給料・手当	2,006,320
入学登録料	21,806	社会/健康保険料	219,671
学校保険掛金	0	所得税	337,194
パソコン教室収入	0	給食経費	790,701
ピアノリース収入	31,519	光熱費	51,808
ユニホーム作成販売	8,689	通信費	40,707
ユニホーム作成室賃貸	0	印刷費	97,010
バス運行収入	0	旅費交通費	98,179
水販売収入	1,262	会議・研修費	138,031
アンテナリース収入	317,176	施設維持費	50,405
その他の収入	20,881	外部監査/弁護士料	68,457
給食費	937,472	医療保険料	122,397
考える会からの支援	1,147,260	緊急医療費	16,969
個人寄付	251,097	市税	21,304
補助金	0	備品	280,040
繰越金	2,132,920	建設/リフォーム	309,709
個人からの返済	0	交際費	101,840
		銀行手数料	15,748
		制服/学用品	30,462
		職員前借り	5,286
合計	7,349,482	合計	4,802,238

残金

2,547,244

日本の円を
ルワンダへ送
金すると、日々
金額が変動す
るので、毎学期
の報告額を単
純に比較できな
いので、おおよ
そのお金の動
きとしてご理解
願います。

今回、保健室の
整備と給食室横
のトイレの上に
水タンクを設置
し衛生設備を整
えました。



てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」)と呼ばれている照子さん
(当会理事斎藤照子 2012年8月28日日本を出発し以後ルワンダ在住)の近況をお知らせします。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。



皆さん、こんにちは！お元気ですか？

ルイズが8月9月と2か月滞在中は、何組もの学校訪問者を迎え、何種類ものイベントが実施され、会社や他の団体が当校をモデル校とする授業やプロジェクトを行うなど、今までに例を見ない忙しさで過ごしました。アツという間の日々でした。

この間、新潟会員の協力で、給食室脇にトイレが設置され、フェリシモ基金のサポートで 10,000L 対応の大きな水タンクも設置されました。



10 月からは看護師常駐の保健室も開設され、牛歩の歩みであっても、一步一步前進しております。しかし、学校運営に於ける課題はまだありますので、気を抜くことはできません。

こんな中で、どうしたらモチベーションを高め、ストレスなく過ごせるのでしょうか？今回は、私の行動規範の2つについてふれてみたいと思います。

その一 「やるべき事は当たり前にする」。これは、どんな困難な事でも、やり方ややるべき事が分かったら、肩ひじはらず、気負わず当たり前にする。

その二 言葉が不十分なので「言葉で理解してもらうのではなく、自分の行動を黙々とやり続ける事を通して理解してもらう」。

これが、私の日々の生活にキチンと組み立てられていて、それに従って歩めば日々のモットーが実現できます。

歳を重ねるたびに思うのは、我が心、我が身体ほど不思議で信頼できる存在はないという事です。自分が定めた日常の基本を実行する事によって、必ず答えが出ます。その良し悪しにかかわらず、良いものはなお良い方に、悪いものはなぜ悪い結果が出たのか、さかのぼって考えます。そして反省し、吟味してもう一度トライします。これをたゆまず続ける事によって、自分が自分であっても、自分の中にいる本物の自分に巡り会ったような自分に対する信頼感が沸いて来ます。

こんな毎日に於いて、心身の不具合もなく、アップダウンの多い街や校内をスタスタ歩き、授業では大きな声で歌い、笑い、態度の悪い子どもはビシビシ叱り、ショゲている子どもはハグし、だれかれかまわず「Izuba」と呼ばれると「カラメ」=名前を呼ばれた時の返事=と陽気に答え、本当に好き勝手に、何も飾る事なくありのままに過ごしております。きっと、これが心身に一番良いのかもしれない。



2016.10.18

それでは、また。お元気で…… IZUBA照子

NPO法人 ルワンダの教育を考える会 PRESENTS!!

15周年記念 Rwandaful Summer2016

内戦で心身ともに傷ついた子どもたちに夢と希望を持って生きてほしいとの願いで始まったルワンダの子ども達の教育支援活動が今年 15 年を迎えました。

地元福島を始め全国の皆さんの支援に感謝の気持ちを込めて、RwandafulSummer2016 を開催しました。特別参加の駐日ルワンダ大使をお迎えし参加者 150 名で異文化交流を行うことが出来ました。会場には、15 年間の当会の活動、学園の歩みを写真パネルで展示して報告しました。

日時 2016年7月18日(月 祝) 13:00~16:00

場所 ミューカルがくと館 大ホール (郡山市開成一丁目1-1)

内容

○ルワンダと福島を繋いで15年の歩み

理事長の永遠瑠マリルイズが、NPO法人設立 15 年間の歩みを映像を使い報告。自らの内戦の体験に基づく教育と平和、命の大切さを伝える講演活動、ルワンダに学校を建設し今日まで支援してきた経緯、子ども達の健康を考え給食室や健康診断をはじめたこと、それらは、福島県民のたくさんの継続した支援があってできた事業であることを感謝を込めて報告した。また 3.11 以降の仮設住宅支援活動(ルワンダカフェ)では、原発事故や津波でふるさとを追われて暮らす仮設住民の 5 年間の活動を報告、仮設住民の方から感謝の言葉が寄せられた。

○ルワンダからのメッセージ・

ルワンダの学校(ウムチョムイーザ学園)と会場をネット中継でつなぎルワンダから校長が福島へ支援のお礼の挨拶、子ども達からメッセージ、日本の唱歌と楽器演奏を披露し交流。福島から移住した音楽教師と学園で活躍する JICA 隊員(幼稚園教諭)から活動の様子が伝えられた。最後にルワンダ大使が現地の子供達とアメージンググレイスを共に歌い会場は深い感動につつまれた。

○Noby Rwandaful concert

トランペット奏者 Noby さんによるトランペット演奏は素晴らしい音色で会場を盛り上げ、最後はアフリカンリズムに合わせルワンダ大使もステージで踊るなど、会場は一体感につつまれた。



ルワンダの校長先生がお礼の言葉



ルワンダ大使家族も飛び入り参加!

マリルイズさんとの出会いから、ルワンダという国について知り、教育についても見方が変わり、そんな中で、今回は音楽で交流を持てた事、とても嬉しく思っています。大使の方にも、歌って踊っていた事、いっしょに楽しい時間を楽しむ事ができたのは、最高の喜びでした。これからもいろいろな形で支援を続けて行きたいと思います。



Noby



コーヒー・紅茶

151杯の売上げ

から15,100円

を学園へ送金させて

いただき
ました。



私とルイズさんとの出会い ルワンダカフェ



天野淑子（いわき市在住）

3. 11の震災から5年が過ぎました。私は、震災当時浪江町に住んでいましたが、そのご避難先を5か所転々として、二本松市平石仮設に落ち着きました。

その頃の私は、しばらく閉じこもり、部屋から出る気分にもなれなかったのです。しばらくして、仮設住宅でルイズさんがお茶会（ルワンダカフェ）を開くようになり、時々ルイズさんを見かけるようになりました。

「良かったら来てください！」何度か声をかけられやがてお茶会に顔を出すようになったのです。ルイズさんとスタッフの皆さんがコーヒーやクッキーを用意して待っていてくれました。ルイズさんがルワンダ人として、内戦を経験し身内の人を亡くし、戦火の最中子どもさんと難民キャンプにたどりついたこと、福島の人々の支援で日本に戻り学校建設したことなどを知るようになりました。

そうした辛い体験をしたにもかかわらず、いつも避難者のことを考えてくれ、ニコニコ私たちを和ませ笑いの中に巻き込んでくれる人柄に私は強く惹かれたのです。

自治会の会長を任せられ、組織の責任者として人間関係にもストレスを感じることも多かったですが、ルイズさんは私の胸のモヤモヤをいつも聞いてくれ支えとなってくれました。自治会会長を3年間経験、その間様々の団体が支援のため仮設住宅を訪問されました。

ルイズさんの講演を聞いて仮設に来られる方もあります。遠く外国から関西から・・・また、毎月千葉から夜行バスで来てくれる方も。ルイズさんとのつながりを通して、たくさんの皆さんとの出会いがありました。

また、仮設の男性が外に出ないので少しでも交流をと、パパズDAYを企画、JICAや大学生など若い人も巻き込みバーベキューやルワンダ料理、ビールで楽しいひと時を過ごしたのも今では思い出となりました。



仮設住宅でパパズDAY（2014年）

最近仮設の皆さんも復興住宅の建設がすすみ、そちらに移転する人、浪江町の近くに戻る人と様々ですがこれからはまた、皆さんバラバラになります。私はいわき市に移転しましたが、知らない方からお茶に誘われ、また新しい繋がりが生まれています。

これまでの仮設のつながりを大切にしたい。せめて年に1回くらい温泉で皆さんと再会できたらいいね、と仲間で話しています。

また、自分も復興住宅に移り自立できてきたので、今度はルイズさんの活動をお手伝いしたい、何か自分にできることがあればお役に立ちたい・・・。そうした思いから、イベントに参加しお手伝いをさせてもらっています。ルイズさんと一緒に何かをすることで私はとても励まされています。遠いですが、いわきにもぜひ遊びに来てください。



「ルワンダ子どもの健康プログラム 2016」の中間報告

フェリシモ地球村の基金をいただき、ウムチョムイーザ学園で進めている「ルワンダ子どもの健康プログラム 2016」の中間報告をします。(2016年8月末現在)

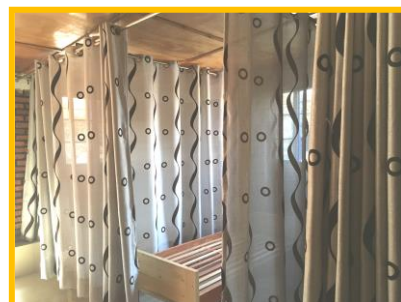
1 小学校での健康診断の準備

ウムチョムイーザ学園で昨年、ルワンダで初めての健康診断を行いました。担当のカリオペ医師はその後、昨年秋、AMDAの協力のもと、岡山を中心として、日本の健康診断の取り組みについて研修を受け帰国しました。その報告会を、今春、同校を会場に開催、日本の健康診断制度から学んだことを、これからのルワンダの健康診断にどう生かすか報告しました。

そして、今年9月に実施する健康診断について、医療スタッフとこれまで3回検討会を行ってきました。

また、健康診断を今後定着させるため、学校の一部を保健室として改修し衛生面を配慮した専用の部屋を確保するための工事を行いました。これからベッドや検査器具を設置する予定です。

ルワンダでの健康診断は、周辺の学校からも注目されはじめ、地域の保護者からも関心が寄せられています。



保健室が間もなく完成です

2 小学校の衛生状態の向上・雨水タンク・手洗い装置の設置



雨水タンク設置の様子

ルワンダは断水の期間も長く、水道から水が出ないことも多くあります。そのため手洗いができない、給食室の食器が十分洗えないなど、不衛生な点が多いため、その対策として雨水貯水タンクを設置します。その工事が6月より開始されました。場所は給食室隣で、雨水貯水タンクを設置し、そこからパイプで給食室入口の手洗い装置に水を引きます。9月から運用できるよう現在工事をすすめています。

また、看護師さんも9月より小学校に常駐し、子ども達のけが、病気の対応の他子ども達へ保健衛生の教育を合わせて行う予定です。看護師さんの常駐により、子ども達も安心して学び遊ぶ環境になります。



カリオペ医師、看護師さんと

当会が申請中の JICA 草の根事業採択！！

当会が申請中の JICA 草の根事業「ルワンダの小学校教員の算数指導力向上プロジェクト」がこのたび、採択されました。ルワンダ政府の了承を得て JICA と契約しこの事業がスタートしました。ただいま、日本国内研修の準備を進めています。

このプロジェクトは、算数の成績が他の教科のなかで一番悪い問題を抱えるルワンダの先生のニーズに応え、その解決策として企画されました。

ウムチョムイーザ学園がある地域（キミロンコ地区）の小学校（11校）の先生方の算数指導力の向上を目指し、日本に学園の教員3名、ガサボ郡関係者1名合計4名を招へいし国内研修を行います。国内研修は、静岡大学、福島市立清明小学校等関係機関の皆さんにお世話になります。

帰国後はルワンダにて定期的に校内研修をすすめてレベルアップを行い、2018 年秋にはキミロンコ地区の先生を対象とした地区研修会を開催するものです。今後このプロジェクトの研修状況を随時ホームページ、ニュースレターにてお知らせします。当会がこの活動をとおして、ルワンダの教育発展に寄与することが期待されています。



ルワンダ写真展



2017年1月4日（水）～1月7日（土）
福島市大町4-15 チェンバ大町1F
JICA隊員の帰国報告会も予定

ルワンダ MARABA コーヒー

おいしいコーヒーを味わって
ルワンダを応援してください！

200g

1個 1,200円

最小購入個数 5個

申込みは下記のメールをお願いします。

e - m a i l : info@rwanda-npo.org





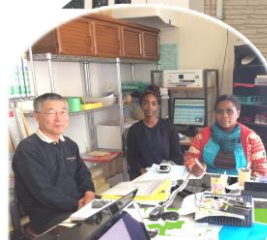
当会事務所が

11月に移転しました！！

今まで、ルイズの自宅兼事務所で活動してきましたが、今回初めて事務所として独立しました。

小さな事務所ですが、道路向かいには広々とした公園があります。ぜひお越しください。

所在地 福島県福島市新町8-21
福島駅より東へ約1km 徒歩16分



— お詫び —

ウムチョムイーザ通信44号において下記の箇所に誤りがありましたので訂正願います。謹んでお詫びいたします。

P5 平成27年度総会報告「国内活動」の
「ジェノサイドミュージアム」を「ジェノサイドメモリアル」へ
P5 同 「ルワンダでの活動」の
(2016年12月末現在)を(2015年12月末現在)へ



☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込・寄付・募金 (学園運営への支援をよろしくお願いします)

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

会費 1口
5,000円



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在46名登録

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

— 編集後記 —

吾妻山の噴火警戒レベルが2から1に引き下げられました。

熊もカエルも冬眠したかな？犬と子ども達は雪遊びを楽しみにしています。

穏やかな新年を迎えたいものです。 T.S



NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠マリルイズ



〒960-8036

福島県福島市新町8-21

TEL: 024-563-6334 FAX: 024-563-6335

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

メール: info@rwanda-npo.org